

しゃぼん玉遊び

みどり・あか・もも 組

しゃぼん玉遊びが始まりました。保育士がしゃぼん玉を吹くと、「わあ〜」と大喜びで、しゃぼん玉を追いかけ、触ったり、割ったりして楽しんでいました。年長児のみどり組が、吹き口を使い、しゃぼん玉を出すと、あか・もも組は追いかけたり、じーっと見たりしていました。又、見ててよ〜と得意気に年下の子に見せてあげていました。



触ってみよ〜



今から大きいしゃぼん玉作るよ



しゃぼん玉待って〜





しゃぼん玉合体させたよ



長いしゃぼん玉だよ

自分の吹き口を見て、たくさん出ることを楽しんだり、小さい子に見せてあげたいしながら遊んでいます。



みどい・あか 組のしゃぼん玉で遊ぶ姿を見て、もも組もやっていました。どうしたらしゃぼん玉ができるかな〜とフーッと吹きかけたり、横に振ったりしながら遊んでいます。異年齢の子ども達が同じ遊びを通して刺激を受け合い、関わりながら遊ぶ中で、様々な気づきや発見をしている姿が見られます。

